

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 知床国立公園

所在地: 北海道斜里郡斜里町 網走南部森林管理署国有林1322林班は小班付近

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成26年9月9日

機関名: 北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場

報告者名: 長坂有

個体番号	N88	N3	N11	N12	E27	E31	E33	E19	S49	S50	S51	S60	S61	W73	W72	W74	W57	W69
(毎木調査番号)																		
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	アカトドマツ	ミズナラ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンバ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンバ	ダケカンバ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンバ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ
樹種名 (学名)	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Quercus mongolica</i> <i>spp. crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> <i>spp. crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Quercus mongolica</i> <i>spp. crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>
相対的樹高	-	+	+	-			-	-										
樹高 (m)	14.6	16.1	18.1	14.8	16.7	16.5	14.6	15.1	14.2	17.4	17.1		17.6	17.0	17.6	17.3	18.1	14.4
胸高直径 (cm)	29.5	84.7	46.4	30.0	45.2	68.5	29.1	33.0	43.0	59.0	64.5		45.2	40.0	32.8	47.9	40.2	26.3
樹勢							1			1			4		1	1		
樹形	1												4					
枝の生長量								1	1									
梢端の枯損			1										4					
落葉率													4					
葉の変形度																		
葉の大きさ																		
葉色																		
葉の障害状況																		
ダメージクラス																		

樹木衰退の原因推定

88: ミズナラによる被圧, さらに2004年台風18号による梢端折れが過去に発生  
 11: 過去の昆虫(食葉性)による食害と樹高の低下 12: ミズナラの被圧 27: 梢端が二股  
 31: 根際の一部の樹皮が剥がれて辺材部が腐朽, 梢端近くに枯枝が一本ある  
 33: 2004年台風18号による梢端折れが過去に発生, 掛かり木による曲がり, 31のダケカンバによる被圧  
 19: 31のダケカンバによる被圧 49: 2004年台風18号により大枝折れが過去に発生  
 60: キツツキによる傷が過去に発生, 地表より3.5mまで樹幹の3分の1が腐朽, 他に凍裂・モミサルノコシカケあり→枯死  
 73: 72のアカトドマツとの競合 72: 73のダケカンバとの競合 74: アカトドマツ溝腐病発生, 他に凍裂・モミサルノコシカケあり

備考

樹種名(学名)は環境省植物目録による  
 網掛け部は平成26年度に枯死が確認された観察木を示す

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 支笏洞爺国立公園

所在地: 北海道札幌市南区 定山溪トンネル付近2090林班ほ小班付近

土壌種名: 暗色系褐色森林土

調査実施日: 平成26年9月2~3日

機関名: 北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場

報告者名: 石濱宣夫

個体番号	S122	S123	S124	E114	E112	E116	W125	W127	W129	W131	N107	N105	N553	N554	S556	E555
(毎木調査番号)																
方位 (E, W, S, or N)	S	S	S	E	E	E	W	W	W	W	N	N	N	N	S	E
樹種名 (和名)	ダケカンパ	ナナカマド	キハダ	ダケカンパ	イタヤカエデ	エゾマツ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	イタヤカエデ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ
樹種名 (学名)	<i>Betula ermani</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Phellodendron amurense</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Picea jezoensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Betula ermani</i>				
相対的樹高				+									+			
樹高 (m)	21.9	19.3	18.5	24.7	18.0	22.7	19.4	24.6	23.9	25.2	15.0	18.0	20.8	22.4	21.9	22.2
胸高直径 (cm)	38.6	35.2	34.0	62.9	32.8	94.7	72.8	38.7	36.1	30.1	45.5	22.8	68.8	33.9	57.0	43.1
樹勢		1	1								2		1			
樹形		1					1				2					
枝の生長量		1	1	1	1		1				1		1			1
梢端の枯損							1									
落葉率		1	1						1				2	2		1
葉の変形度									1							
葉の大きさ									1			1	1	1		1
葉色																
葉の障害状況																
ダメージクラス																

樹木衰退の原因推定

107は幹が部分的に枯れ。  
 114はつる (ツルアジサイ, ツタウルシ) 多し。  
 123は老齡過熟木であり, やや被圧されて小枝の枯れがやや多い。  
 125は老齡過熟木であり, 枝枯れ少しあり。

備考

林分全体として2004年の台風18号による梢端折れの後遺症から回復したようである。  
 立木密度が低いため, 大円外に553~556の4本の観察木を新たに追加設定した。

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 十和田八幡平国立公園

所在地: 岩手県八幡平市 八幡平山国有林10林班ろ小班及び12林班ろ小班

土壌種名: 湿性ポドゾル化土壌

調査実施日: 平成26年8月12日

機関名: 岩手県環境保健研究センター

報告者名: 西井和弘

個体番号	1	2	3	4	5	6	7-1	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18-1	19	20
(毎木調査番号)							28										94		
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S
樹種名 (和名)	オオシラビソ																		
樹種名 (学名)	<i>Abies mariesii</i>																		
相対的樹高	-				+		+	-		+	+			+	-	-			-
樹高 (m)	6.6	9.9	9.2	10.0	8.6	11.1	13.7	8.3	9.2	13.0	11.6	9.0	8.8	12.7	2.8	3.8	4.7	1.5	2.0
胸高直径 (cm)	23.1	30.1	26.5	32.0	23.3	33.5	32.4	23.3	27.1	33.8	32.8	19.2	19.0	33.4	13.6	19.9	18.4	7.6	8.2
樹勢	2	1		2		1			1		1			1					
樹形	3	2		3	1	1	2		1		1	1	1	2					
枝の生長量	1	1		1	1	1	1		1		1	1	1	1				1	
梢端の枯損															2				1
落葉率	1			1	1	1			1					1					1
葉の変形度																			
葉の大きさ																			
葉色																			
葉の障害状況																			
ダメージクラス																			

樹木衰退の原因推定 各個体の衰退は寒風害, 凍害, 雪害等の影響と考えられる

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 磐梯朝日国立公園

所在地: 新潟県村上市三面 三面山国有林1163林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成26年9月26日

機関名: (1)新潟県森林研究所 (2)新潟県保健環境科学研究所

報告者名: (1)武田宏 (2)柳原和貴

個体番号	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W2	W3	W4	W5
(毎木調査番号)		47	48	49	50						16	51	27	28	29					
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	フナ																			
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>																			
相対的樹高		-	-				-	+		-		-	-							+
樹高 (m)	31.3	30.3	25.6	28.9	28.8	30.4	30.0	32.5	28.2	27.0	22.5	21.9	21.0	22.6	23.2	30.8	30.0	30.8	33.1	33.5
胸高直径 (cm)	96.8	67.5	46.2	54.1	67.6	68.1	42.3	81.3	72.0	70.0	73.5	44.8	50.7	40.0	68.2	61.0	56.2	52.0	82.6	69.6
樹勢													2							
樹形			1				1						2	1	1					
枝の生長量													1							
梢端の枯損													1							
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 N3, E2及びS4: 雪害による枝折れ S3: フジがからんで樹勢を弱らせている

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 日光国立公園  
 所在地: 栃木県日光市狸窪  
 土壌種名: 褐色森林土・日光2統  
 調査実施日: 平成26年9月26日  
 機関名: 栃木県林業センター  
 報告者名: 井上歩

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	284	301	302	303	304	281	333	295	298	299	288	289	290	291	334	306	307	308	310	311
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	アオダモ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ホノキタマメイグツ	ウラジロモミ	アハ	ウラジロモミ	アハ	アオダモ	アハ	ウラジロモミ	アハ	アハ						
樹種名 (学名)	<i>Fraxinus lanuginosa</i> <i>form. serata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fraxinus lanuginosa</i> <i>form. serata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>						
相対的樹高	-	-	+	-		+	-	+			-						+	-		
樹高 (m)	12.9	21.1	31.6	13.3	18.0	24.2	18.2	34.2	17.2	20.0	19.9	22.8	28.0	23.5	24.4	13.1	23.3	15.7	14.5	15.4
胸高直径 (cm)	18.9	26.0	67.7	19.5	31.6	84.0	20.6	53.7	28.9	43.2	20.9	34.7	36.4	30.8	30.4	36.1	42.0	19.5	24.6	28.8
樹勢	1	1	1																	1
樹形					1		1												1	1
枝の生長量																				
梢端の枯損	1	1	1															1	1	1
落葉率																				1
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況		1																		
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 2,3: 上木に被圧され、葉・枝の生長が阻害されているため  
 19,20: 表土の流出により、根が露出しているため

備考 13: 二股のため大きい方を採用、16: 接近しているため胸高直径は2本一緒に、樹高は高い方を採用  
 1, 19, 20: 根が露出(シカ食害のために下層食性が衰退して表土が流出したためと考えられる)

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 中部山岳国立公園

所在地: 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂外11 国有林139の林小班美女平遊歩道付近

土壌種名: 湿性鉄型弱ポドゾル化土壌Pw(i)III

調査実施日: 平成26年8月22日

機関名: 富山県農林水産総合技術センター森林研究所

報告者名: 大宮徹

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(毎木調査番号)	468	469	475	YW723	474	471	470	467	465	466	464	YW722
方位 (E, W, S, or N)	NW	NW	E	NE	E	SW	SW	W	W	W	W	S
樹種名 (和名)	ブナ	ブナ	ホオノキ	ホオノキ	ホオノキ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ホオノキ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>					
相対的樹高	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	-
樹高 (m)	25.0	25.9	25.3	18.5	24.5	24.5	22.1	26.0	25.2	28.5	28.4	13.8
胸高直径 (cm)	78.1	56.4	62.7	57.3	55.0	76.1	62.2	65.9	57.8	80.2	59.6	22.0
樹勢			2	1	1			1				
樹形	1		2		1			1				
枝の生長量			1									
梢端の枯損							1					
落葉率												
葉の変形度												
葉の大きさ												
葉色												
葉の障害状況												
ダメージクラス												

樹木衰退の原因推定 現状では特に原因が見つからないため不明

備考 4: 突起物の上で計測 8: 胸高直径はつる込

表E: 樹木衰退調査結果(ENET方式)

地点名: 白山国立公園  
 所在地: 石川県白山市白峰 釈迦ヶ岳国有林39林班は小班  
 土壌種名: 湿性腐植型弱ポドソル化土壌  
 調査実施日: 平成26年9月12日  
 機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場  
 報告者名: 千木容

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	20	21	22
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	20	21	22
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名(和名)	ミズメ	フナ	ミズメ	フナ	フナ	フナ	ミズメ	フナ	フナ	コハナチウカエデ	フナ	フナ	フナ	フナ	フナ	フナ	ハナチウカエデ	フナ	ミネカエデ	ハナチウカエデ
樹種名(学名)	<i>Betula grossa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer japonicum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer tschonoskii</i>	<i>Acer japonicum</i>					
相対的樹高	-	+	-	+	+	+	-			-	-			-			-	+	-	-
樹高(m)	8.2	26.1	13.6	25.3	26.0	25.6	17.0	24.9	20.1	12.3	21.0	23.6	21.0	24.0	24.9	18.0	8.9	30.0	12.3	7.7
胸高直径(cm)	49.9	50.2	39.5	55.7	77.8	85.6	40.3	91.8	41.2	20.6	####	82.4	46.2	38.1	55.0	63.2	11.5	95.2	21.9	16.2
樹勢	1										1									
樹形	1		1				1				1			1		1				
枝の生長量			1				1			1							1			1
梢端の枯損											1									
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 平成14年10月28から30日の着葉期に、まとまった降雪で冠雪害が多発し、太い枝が折れるなど樹冠の衰退が見られた  
 それが基になり、徐々に衰退が進行しているものと思われ、19は平成20年度調査で枯死していた  
 平成22年も豪雪により梢の折れたもの(1及び16)が見られた

備考 21:平成20年度調査で枯死した19から変更  
 22:平成25年度調査で枯死した17から変更  
 平成25年に枯死した17が16に倒れかかっているため、16の樹形が変形して天空写真に影響

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 宝立山

所在地: 石川県輪島市町野町寺山黒峰11甲12-1及び12-2 町野県有林

土壌種名: 弱乾性赤色土

調査実施日: 平成26年9月24日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木容

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	21	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Pinus densiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>														
相対的樹高	+		+			+	-	-								-				+
樹高 (m)	17.8	17.0	20.9	15.4	15.9	19.1	12.2	11.7	15.0	16.4	15.5	15.4	16.9	15.2	14.8	11.1	16.9	13.6	16.7	18.0
胸高直径 (cm)	22.8	21.5	40.0	18.7	23.6	39.0	13.2	18.1	21.0	23.9	23.0	17.0	23.0	15.0	21.0	12.6	19.2	16.3	23.1	29.5
樹勢																				
樹形																				
枝の生長量							1	1		1						1		1	1	
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 一部、枝折れした部分で枝葉の密度バランスが若干崩れている個体があるものの、樹勢に衰えは無い

備考 21: 平成21年度にナラ枯れにより枯死した11の代替木  
樹高及び胸高直径は平成22年の実測データ

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 石動山

所在地: 石川県鹿島郡中能登町石動山1-1 石動山県有林

土壌種名: 適潤性褐色森林土

調査実施日: 平成26年9月24日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木容

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	フナ	ミズメ	イヌシデ	フナ	フナ	フナ	イヌシデ	イヌシデ	ミズメ	イタヤカエデ	フナ	フナ	フナ	フナ	フナ	ミズナラ	イヌザナラ	フナ	フナ	フナ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Carpinus ischonokii</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus ischonokii</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus mongolica</i> <i>spp. Crispula</i>	<i>Pinus jansakura</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>				
相対的樹高	+	+		+	+			-				-			+	+		-		
樹高 (m)	30.1	34.8	20.7	31.1	26.7	24.0	23.8	14.5	21.6	20.4	25.3	18.5	24.3	22.8	25.1	26.1	21.2	19.0	22.3	20.6
胸高直径 (cm)	41.5	55.4	45.0	62.0	50.1	53.5	53.0	38.5	40.4	33.5	58.5	49.7	63.7	33.7	47.0	45.5	64.7	35.8	55.5	41.9
樹勢																				
樹形			1					1		1						1	1			
枝の生長量												1								
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 12: 下枝の一部が積雪により折損  
3及び17: 下枝の折損による樹形の乱れ

備考 樹高及び胸高直径は平成22年の実測データ

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 法道寺

所在地: 大阪府堺市南区鉢ヶ峰397-3 法道寺所有林

土壌種名: 黄色土

調査実施日: 平成26年8月6日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 辻野・小林・上森

個体番号	S2	S3	S4	S5	W2	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E3	E4	E5
(毎木調査番号)	77	106	132	105	100	125	95	93	117	88	131	91	84	53	113	112
方位 (E, W, S, or N)	S	S	S	S	W	W	W	N	N	N	N	N	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ツブラジイ															
樹種名 (学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i>															
相対的樹高						+				-						
樹高 (m)	18.1	11.9	12.8	15.8	16.9	16.3	19.2	19.3	17.7	14.6	17.7	20.9	15.6	15.7	21.8	16.5
胸高直径 (cm)	21.9	24.7	23.3	31.0	40.6	37.7	33.0	37.7	41.7	25.5	31.8	32.5	35.7	43.2	30.8	48.5
樹勢	1	2			1	1				2						3
樹形	1	2	1		2	1				1						3
枝の生長量	1	2			1	1				1						3
梢端の枯損					1	1										3
落葉率						1										3
葉の変形度																
葉の大きさ																1
葉色																
葉の障害状況																
ダメージクラス																

樹木衰退の原因推定

S1: 被圧により枯死、W1: 本体は枯死しているが、ひこばえがかろうじて生育

W2: 被圧により一部の枝が枯損(6割程度)

E2: 被圧により梢端枯損し幹吹き多数 E5: 被圧により梢端枯損

備考

環境省植物目録に従いコジイはツブラジイとして記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 天野山

所在地: 大阪府河内長野市天野町277-1 天野山府営林

土壌種名: 褐色森林土(黄色系)

調査実施日: 平成26年8月6日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 辻野・小林・上森

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W2	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	54	102	103	104	105	64	34	69	70	35	81	43	42	41	80	88	89	90	47	48
方位(E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	ヒノキ																			
樹種名(学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																			
相対的樹高																				
樹高(m)	18.7	16.2	15.9	15.7	19.5	20.5	17.8	22.5	16.5	21.3	17.6	25.6	18.9	22.3	21.1	19.4	19.1	19.2	20.5	19.4
胸高直径(cm)	23.3	22.0	18.1	18.9	33.6	22.6	22.7	23.3	26.4	19.0	28.5	25.9	17.8	28.0	22.5	25.6	25.3	21.7	23.9	30.0
樹勢													1							
樹形																				
枝の生長量													1							
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 W3: 原因は不明(被圧ではない)

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 吉野熊野

所在地: 奈良県上北山村 大台ヶ原山七つ池付近

土壌種名: 乾性褐色森林土

調査実施日: 平成26年8月6-7日・28-29日

機関名: 奈良県森林技術センター

報告者名: 若山学

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	21	24	28	29	30	2	3	47	49	52	36	41	42	43	44	6	10	14	16	17
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ブナ	ブナ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ	オオイタヤメイゲツ	ヒノキ	ブナ	ウラジロモミ	ブナ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer Shirasawanum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>					
相対的樹高	-	+	-	±	±	±	+	-	±	+	±	±	±	-	±	-	±	±	±	±
樹高 (m)	16.0	18.9	15.3	16.9	16.1	18.9	21.5	14.8	18.4	25.2	15.9	17.9	16.1	12.5	18.9	12.0	17.2	15.6	17.2	18.8
胸高直径 (cm)	23.7	48.9	26.0	30.2	40.1	46.8	40.9	29.6	40.4	51.3	31.1	42.0	26.9	22.0	47.2	36.8	40.8	42.7	38.9	41.4
樹勢		1				1		1								2		2		
樹形		1														2		2		
枝の生長量														1						
梢端の枯損		1		1		1		1		1					2			2		
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																			1	
葉色								1												
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 一部のウラジロモミは隣接木の被圧の影響あり  
一部のブナは隣接木の被圧及び蔓性植物が、樹形に影響  
オオイタヤメイゲツは日焼けによる、葉の変色など障害が見られた

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 大山隠岐

所在地: 鳥取県西伯郡大山町大字大山字大休 大山国有林地内

土壌種名: 黒色土

調査実施日: 平成26年8月19日、10月9日

機関名: 鳥取県農林総合研究所林業試験場

報告者名: 谷口公教

個体番号	1	2	3	4	5	7	8	9	12	13
(毎木調査番号)	C3	H10	H1	H7	H11	H3	H12	C26	H5	81
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	W	W	S	S	N	S	N
樹種名 (和名)	ハウチワカエデ	コシヤナラ	ナナ	キハダ	ナツカエデ	ナナ	ナナ	ナナ	アズキナシ	ウツミズナラ
樹種名 (学名)	<i>Acer japonicum</i>	<i>Acanthopanax sciadaphnoides</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Phellodendron amurense</i>	<i>Acer nipponicum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Sorbus alniifolia</i>	<i>Prunus grayana</i>
相対的樹高		-	+			+		+		
樹高 (m)	10.9	6.8	22.3	17.3	16.6	24.4	13.0	15.5	11.9	14.8
胸高直径 (cm)	25.8	20.8	90.5	30.9	21.4	54.1	38.8	45.3	28.5	31.2
樹勢		2		1	1					1
樹形		1		1	1	1	1		1	2
枝の生長量				1	1	1				2
梢端の枯損		2		1	1			1		1
落葉率				1	1					1
葉の変形度					1				1	1
葉の大きさ				1	2	1			1	
葉色					1					
葉の障害状況		3		1	1					
ダメージクラス					1					

樹木衰退の原因推定 2: 傾斜木、梢端・枝の一部折損、虫による葉の食害あり 4: 虫による葉の食害あり

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 石鎚

所在地: 高知県吾川郡いの町 白猪谷山国有林253林班は小班及びびへ小班

土壌種名: 適潤性褐色森林土 (偏乾亜型) B<sub>D(d)</sub>

調査実施日: 平成26年7月30日、11月5-6日

機関名: 高知県立森林技術センター

報告者名: 深田英久

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
(毎木調査番号)	3-35	3-38	3-39	3-43	3-44	2-1	2-29	3-8	3-9	3-10	1-4	2-2	3-1	3-11	3-16	2-21	3-26	3-27	3-28	3-59	2-11
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	S
樹種名 (和名)	ダケカンパ	コハナチウカエデ	ツナ	ツガ	コハナチウカエデ	ツナ	ツナ	モミ	ツナ	ヒノキ	モミ	ウヨウゾ	ヒノキ	ダケカンパ	コハナチウカエデ	ヒノキ	ウヨウゾ	ウヨウゾ	ミズナラ	ダケカンパ	アオハダ
樹種名 (学名)	<i>Betula ermanii</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Tsuga sieboldii</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies firma</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Abies firma</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Quercus mongolica</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Ilex macrospoda</i>
相対的樹高			+								+	-	+			+	-	-			-
樹高 (m)	9.8	8.2	20.2	12.4	10.0	14.1	16.4	14.3	15.8	12.2	15.6	6.4	18.0	11.0	10.5	17.1	6.9	5.7	11.8	13.3	5.5
胸高直径 (cm)	17.7	11.5	64.1	46.7	29.3	49.2	44.9	35.4	41.6	30.7	41.5	12.3	54.8	22.0	30.4	63.5	14.0	12.4	56.1	29.7	7.5
樹勢														4							
樹形				1						1				4							
枝の生長量																					
梢端の枯損										1				4							
落葉率														4							
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

樹木衰退の原因推定 4: ツガ特有の樹形の崩れによるものと推測

10及び14: 風害によるものと推測

備考

21: 個体番号14の後継

網掛け部は平成26年度に枯死が確認された観察木を示す

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 霜降岳

所在地: 山口県宇部市大字川上字男山755-95及び755-96

土壌種名: 黄色土

調査実施日: 平成26年8月26日

機関名: (1) 山口県環境保健センター環境科学部 (2) 山口県農林総合技術センター林業技術部

報告者名: (1) 大橋めぐみ、長田健太郎、川本長雄, (2) 渡邊雅治、佐久間英明、大池航史

個体番号	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5	S-1	S-3	S-4	S-5	W-1	W-2	W-4	W-5	N-1	N-2	N-3	N-4	N-5
(毎木調査番号)						中-24	中-20	中-34			小-339	大-1		中-98	大-3			
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	シャシャンボ	ヒサカキ	クロキ	コナラ	ヒサカキ	コナラ	ヒサカキ	カマノキ	ソヨゴ	ヒサカキ	シャシャンボ	コナラ	ヒサカキ	ヒサカキ	タブノキ	ヤマザクラ	コナラ	ソヨゴ
樹種名 (学名)	<i>Vaccinium bracteatum</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Synlocos lucida</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Litsea coreana</i>	<i>Ilex pedunculosa</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Vaccinium bracteatum</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Prunus yamasakura</i>	<i>Euscaphis japonica</i>	<i>Ilex pedunculosa</i>
相対的樹高			+	+	-		-	+	+		-	+	+		+	+		-
樹高 (m)	7.4	7.5	8.7	11.5	5.9	8.3	5.5	9.5	9.7	5.5	6.1	11.0	7.0	7.0	14.0	10.9	6.7	6.6
胸高直径 (cm)	8.8	8.4	13.0	21.9	7.5	11.5	6.5	17.1	14.1	6.5	6.8	28.1	10.2	6.1	23.3	13.2	7.6	6.7
樹勢																		
樹形																		
枝の生長量																		
梢端の枯損																		
落葉率																		
葉の変形度																		
葉の大きさ																		
葉色																		
葉の障害状況																		
ダメージクラス																		

樹木衰退の原因推定 なし

備考

樹冠が鬱閉しているため、農業総合技術センターの指導により樹高の測定方法を超音波測高器(パーテックス)から測棒を用いた方法に環境省植物目録に従いシャシャンボはシャシャンボとして記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 十種ヶ峰

所在地: 山口県山口市阿東嘉年下615番地1

土壌種名: 森林黒ボク土

調査実施日: 平成26年8月1日

機関名: (1) 山口県環境保健センター環境科学部 (2) 山口県農林総合技術センター林業技術部

報告者名: (1) 大橋めぐみ、長田健太郎、川本長雄, (2) 渡邊雅治、佐久間英明

個体番号	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5	N-1	N-2	N-3	N-4	N-5
(毎木調査番号)	84	85	50	52	54	88	91	58	59	61	67	68	37-2	33	70	75	40	77	44	48
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	ヒノキ																			
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																			
相対的樹高																				
樹高 (m)	13.3	12.6	13.6	12.6	13.4	14.5	14.6	15.2	14.8	15.4	14.5	14.2	13.6	12.7	13.9	12.9	14.0	13.1	14.0	12.0
胸高直径 (cm)	26.7	23.1	31.3	21.0	27.8	24.6	26.1	25.2	29.0	28.3	27.2	28.0	25.7	24.8	26.0	21.9	26.3	26.4	22.0	20.0
樹勢																				
樹形																				
枝の生長量																				
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 なし

備考

E-3, S-2, S-3, W-3, W-5, N-2及びN-4: 平成19年12月の間伐による伐採のため, 近隣の樹木を優先木として新たに選定(平成20年)  
 樹種名は平凡社・日本の野生植物木本I:p19による  
 樹高測定は超音波測高器(バーテックス)で実施

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 香椎宮1

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 平成26年11月19日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一・石間妙子・金子洋平

個体番号 (毎木調査番号)	2-1	3-27	3-28	3-1	3-30	2-22	2-26	2-27	3-6	3-7	3-9	3-10	3-11	3-16	3-17	2-31	3-21	3-24	3-25	3-26	
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	
樹種名 (和名)	ヤブモモ	クスノキ	ホノトノキ	クスギ	イチイガシ	ハゼノキ	ヤブモモ	ヤブモモ	クスノキ	ヤブモモ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	イチイガシ	ヤブモモ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	
樹種名 (学名)	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Elaeocarpus sylvesteris</i> var. <i>ellipticus</i>	<i>Quercus acutissima</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Rhus succedanea</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>						
相対的樹高		+								-							-				
樹高 (m)	14.0	19.0	15.3	15.6	15.6	14.7	13.7	13.7	16.2	10.2	12.9	12.3	12.3	13.0	14.0	18.0	13.5	18.0	18.0	18.0	
胸高直径 (cm)	29.5	64.4	41.0	32.9	27.0	33.2	41.7	46.3	78.2	29.5	41.4	34.0	43.5	34.1	31.3	45.9	38.7	42.6	54.1	48.2	
樹勢																					
樹形																					
枝の生長量																					
梢端の枯損	1			1			1	1		1	1						1				
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

樹木衰退の原因推定 2-1,3-1,2-26,2-27,3-7,3-9,3-21: 梢端の枯損等が多少見られるが、衰退はしていないと考えられる

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 香椎宮2

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 平成26年11月19日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一・石間妙子・金子洋平

個体番号	1-1	2-16	3-1	3-2	3-15	1-5	2-4	3-4	3-5	3-6	1-7	2-6	2-7	2-9	3-9	1-13	1-14	2-13	3-10	3-12
(毎木調査番号)																				
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	クスノキ	クスノキ	イチイガシ	ヤブモモ	クスノキ	スダジイ	ナナミノキ	スダジイ	クスノキ	スダジイ	ヤブニツケイ	ナナミノキ	スダジイ	スダジイ
樹種名 (学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum japonicum</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>					
相対的樹高																				
樹高 (m)	20.0	21.0	18.0	18.0	18.0	20.0	20.0	20.0	20.0	18.0	21.0	21.0	15.5	18.5	21.0	14.8	16.5	17.0	16.5	17.0
胸高直径 (cm)	67.9	78.4	67.0	48.8	55.7	45.8	38.1	48.4	52.9	45.8	49.7	74.5	32.4	58.5	49.4	75.7	30.8	40.9	35.2	46.8
樹勢						1										1			1	
樹形			1			1										1			1	
枝の生長量																				
梢端の枯損						1										1		1	1	
落葉率																1				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 1-5: 強風による枝折れが影響した可能性 1-13及び3-10: 木材腐朽菌による幹の腐朽  
3-1, 2-13: 樹形に若干の乱れ、または梢端の枯損が多少見られるが、衰退はしていないと考えられる

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 古処山1

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷 (旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 平成26年11月21日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一・石間妙子・金子洋平

個体番号 (毎木調査番号)	2-1	2-3	2-24	3-1	3-23	2-7	2-8	3-3	3-5	3-7	3-8	3-10	3-11	3-12	3-13	1-97	3-15	3-17	3-18	3-19
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ナツノキ	シラカシ	ツナラシ	ナツノキ	ナツノキ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	ナムノキ	スギ	スギ	スギ	スギ	シラカシ	ツナラシ	ツナラシ	ツナラシ	ツナラシ
樹種名 (学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>				
相対的樹高			—																	
樹高 (m)	16.5	22.0	15.0	18.0	16.0	19.0	17.5	16.5	19.5	20.0	16.0	21.0	21.0	15.0	21.0	20.0	18.0	14.0	18.5	16.5
胸高直径 (cm)	34.8	35.3	26.7	24.4	27.5	29.1	24.7	22.5	30.4	37.9	26.3	37.3	47.0	20.7	52.3	34.5	51.6	26.3	38.6	30.0
樹勢																				1
樹形			1											1						
枝の生長量																				
梢端の枯損			1								1			1						1
落葉率																				1
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダミークラス																				

樹木衰退の原因推定

2-24, 3-12, 3-19: 周囲木による被陰が影響  
3-8: 梢端の枯損が多少見られるが、衰退はしていないと考えられる

備考

3-7, 3-11: キツタ絡み  
1-97: テイカカズラ絡み  
3-8: 枯死したナムノキの代替木

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 古処山2

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷(旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 平成26年11月21日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一・石間妙子・金子洋平

個体番号 (毎木調査番号)	1-10	1-182	2-2	2-3	2-9	1-32	1-46	3-5	3-8	3-11	1-42	1-76	1-95	2-21	3-13	1-133	1-150	2-36	2-37	3-23
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	タブノキ	ツチノコ	タブノキ	ツチノコ	ツチノコ	ツチノコ	クスノキ	シラカシ	シラカシ	ツクスネカシ	ツチノコ	ツチノコ	ツチノコ	シラカシ	シラカシ	ツチノコ	タブノキ	タブノキ	ツチノコ	ツチノコ
樹種名(学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>
相対的樹高																				
樹高(m)	16.5	16.5	16.0	16.0	16.0	17.0	16.0	18.5	18.5	16.5	17.0	16.5	14.5	18.0	18.0	16.5	16.0	16.5	15.5	17.5
胸高直径(cm)	33.6	16.7	18.1	27.2	26.2	33.2	24.8	25.4	25.7	23.8	36.6	21.8	36.8	39.8	27.9	33.8	24.6	23.4	13.2	40.4
樹勢																				
樹形																				1
枝の生長量																				
梢端の枯損		1							1			1								
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 1-182, 3-8, 1-76, 2-37: 樹形に若干の乱れ, または梢端の枯損が多少見られるが, 衰退はしていないと考えられる

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 阿蘇くじゅう

所在地: 大分県竹田市久住町大字有氏大船山2994-1 56林班ヶ小班

土壌種名: 黒ボク土

調査実施日: 平成26年9月2日

機関名: 大分県農林水産研究指導センター林業研究部

報告者名: 井上千種

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	21	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	ミズナラ	ミズナラ	ミズナラ	ミズナラ	リョウカヅ	クナ	クナ	ミズナラ	ミズナラ	ミズナラ	クナ	クナ	クナ	ミズナラ	ミズナラ	ミズナラ	クナ	クナ	コシアナラ	ミズナラ
樹種名 (学名)	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acanthopanax</i> <i>sciadophylloides</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>
相対的樹高	-	+			-					-	+									
樹高 (m)	16.2	20.0	16.0	17.3	10.7	18.7	17.8	16.4	15.7	12.5	22.8	19.4	19.3	17.7	18.7	16.8	15.6	17.6	15.1	16.0
胸高直径 (cm)	29.0	45.2	31.7	44.6	22.8	33.5	39.6	35.1	32.7	33.0	60.1	60.4	40.5	21.3	62.4	32.0	25.8	49.9	28.0	45.4
樹勢																		1	2	
樹形																				
枝の生長量																				
梢端の枯損					1													1	2	
落葉率																		1	2	
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 18: 平成25年度に広範囲にキノコが観察された力枝が落枝(腐朽菌による幹の腐れが原因の可能性)  
19: 地際部分に腐れが観察されており、樹冠で枝の枯れ上がりが観察された

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 屋久国立公園(屋久島1)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林9林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成26年10月2日

機関名: 鹿児島県農業開発総合センター生産環境部土壌環境研究室

報告者名: 井上健一

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5	S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	3-2	3-3	3-1			3-16	3-19	3-21	3-20		3-27	3-28	2-20	3-25		3-7	3-8	3-11	3-5	3-4
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	スギ																			
樹種名 (学名)	<i>Cryptomeria japonica</i>																			
相対的樹高		+			+	-	-	-	-	-						+	+	+	+	+
樹高 (m)	28	27	24	24	26	20	15	19	13	19	21	20	17	19	19	21	25	24	24	28
胸高直径 (cm)	####	99.5	98.2	69.3	80.5	57.9	97.0	63.1	38.9	58.8	71.6	66.9	54.3	68.3	52.5	62.5	####	57.2	####	78.5
樹勢																				
樹形																				
枝の生長量																				
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 なし

備考 なし

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 屋久国立公園(屋久島2)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林3林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成26年10月1日

機関名: 鹿児島県農業開発総合センター生産環境部土壌環境研究室

報告者名: 井上健一

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5	S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5	
(毎木調査番号)				3-37	3-40	2-10			3-17	3-14			3-25			2-7			3-5		
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N	
樹種名 (和名)	サカキ	サカキ	サカキ	ツカノキ	シロダモ	サカキ	タイミンタチバナ	ノリノリノキ	ヤブツバキ	サカキ	ツカノキ	サカキ	ヤブツバキ	ヤブツバキ	ヤブツバキ	タイミンタチバナ	サカキ	サカキ	ヤブツバキ	ツカノキ	ヤブツバキ
樹種名 (学名)	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Schefflera octophylla</i>	<i>Neolisa sericea</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Myrzine seguinii</i>	<i>Actinodaphne longifolia</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Schefflera octophylla</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Lithocarpus edulis</i>	<i>Myrsine seguinii</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Schefflera octophylla</i>	<i>Camellia japonica</i>	
相対的樹高	-	-		+	+	-						-		+		-			+	-	
樹高 (m)	8	7	13	16	15	9	11	10	11	12	10	6	7	12	8	9	7	11	14	7	
胸高直径 (cm)	11.7	12.3	12.3	34.3	24.7	17.2	25.2	16.6	25.6	30.4	17.7	11.9	20.8	20.5	16.7	13.6	8.5	14.2	60.2	8.6	
樹勢																					
樹形																					
枝の生長量																					
梢端の枯損																					
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

樹木衰退の原因推定 なし

備考 樹種名(学名)は環境省植物目録による

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 伊自良

所在地: 岐阜県山県市長滝釜ヶ谷27-2

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成26年11月28日

機関名: 岐阜県森林研究所森林環境部

報告者名: 田中伸治

個体番号	1	2	3-2	4	5-2	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)			53		6	120	119	118		80					94	69	70			
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	スギ	ヒノキ												
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																	
相対的樹高				-			+					-	-	+				-	-	-
樹高 (m)	14.3	13.5	14.9	12.4	15.5	16.3	17.0	16.3	16.0	15.0	15.8	14.3	14.5	16.6	15.9	12.9	14.5	12.2	12.8	12.8
胸高直径 (cm)	20.6	16.0	18.0	15.0	17.5	24.0	26.9	22.2	17.7	19.2	15.0	16.3	16.1	20.7	19.0	22.0	17.3	11.4	12.1	18.1
樹勢																		1	1	1
樹形		1		1	1			1		1	1	1	1	1	1		1	1	1	1
枝の生長量																				
梢端の枯損	1			1						1		1								
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定

2: 幹曲がり, 4: 幹曲がり, 5-2: 幹曲がり, 8: 幹曲がり, 10: 幹曲がり, 11: 幹曲がり, 12: 幹曲がり  
 13: 幹曲がりおよび二又, 14: 幹曲がり, 15: 幹曲がり, 17: 幹曲がり, 18: 周囲木からの被圧および幹曲がり  
 19: 周囲木からの被圧および幹曲がり, 20: 周囲木からの被圧、幹曲がりおよび二又

備考

3-2: 間伐により伐採→調査木変更 (平成22年)  
 5-2: 枯損? →調査木変更 (平成22年)

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 大和

所在地: 岐阜県郡上市大和町古道足代山1270-1

土壌種名: 黒ボク土

調査実施日: 平成26年11月27日

機関名: 岐阜県森林研究所森林環境部

報告者名: 田中伸治

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11-2	12-2	13-2	14-2	15	16	17	18	19	20	
(毎木調査番号)	22	21	9	10	23	46	47	45	42	7	34	13	6	38	37	30	29	11	12	31	
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	
樹種名 (和名)	ヒノキ																				
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																				
相対的樹高											—						—			—	
樹高 (m)	30.0	28.4	30.7	28.7	28.1	31.8	28.3	30.2	30.0	28.5	25.5	29.8	29.5	28.6	28.7	29.3	27.6	29.6	30.4	24.5	
胸高直径 (cm)	39.0	39.0	43.2	43.7	42.2	44.9	38.5	36.8	41.7	39.3	34.4	44.2	45.3	35.2	42.2	32.4	34.5	44.3	40.1	34.4	
樹勢																					1
樹形																1	1				1
枝の生長量																					
梢端の枯損			1	1			1	1			1										
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

樹木衰退の原因推定 16: 幹曲がり, 17: 幹曲がり, 20: 幹曲がり

備考

- 11-2: 幹折れのため調査木変更 (平成23年)
- 12-2: 幹曲がりのため調査木変更 (平成23年)
- 13-2: 周辺木からの過去の被圧の影響のため調査木変更 (平成23年)
- 14-2: 雪害による幹折れのため調査木変更 (平成22年)

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 蟠竜湖2

所在地: 島根県益田市高津町 蟠竜湖県立自然公園特別地域内

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成26年9月26日

機関名: しまね樹木医会

報告者名: 柳井良仁

個体番号	1	2	3	4	5	6	8	9	10	12	13	14
(毎木調査番号)	72	82	76	63	64	65	83	34	35	8	9	80
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	E	E	E	N	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	スダジイ	タブノキ	クロキ	タブノキ	エゴノキ	タブノキ	コナラ	タブノキ	タブノキ	クロキ	クロキ	モチノキ
樹種名 (学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Symplocos lucida</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Syrax japonicus</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Symplocos lucida</i>	<i>Symplocos lucida</i>	<i>Ilex integra</i>
相対的樹高	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
樹高 (m)	13.9	14.7	13.8	12.8	11.0	14.7	13.5	16.3	14.6	14.7	16.6	14.3
胸高直径 (cm)	28.2	28.2	12.5	28.8	16.1	23.5	22.5	25.6	21.6	16.7	21.5	34.2
樹勢												
樹形												
枝の生長量												
梢端の枯損												
落葉率												
葉の変形度												
葉の大きさ												
葉色												
葉の障害状況												
ダメージクラス												

樹木衰退の原因推定 8: プナ科樹木萎凋病(カンノナガキクイムシ・ナラ菌の加害は復旧)

備考 7及び11が枯損(平成23年)のため、12, 13及び14を追加(平成23年)  
樹種名(学名)は環境省植物目録による

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 石見臨空FP

所在地: 島根県益田市虫追町 石見臨空ファクトリーパーク周辺

土壌種名: 赤色土

調査実施日: 平成26年9月26日

機関名: しまね樹木医会

報告者名: 柳井良仁

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	13	14	15	16	17
(毎木調査番号)	92	93	122	100	104	108	127	128	63	138	112	113	114	142	141
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	タブノキ	タブノキ	タブノキ	コナラ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	タブノキ	タブノキ	タブノキ	タブノキ	クワ	タブノキ
樹種名 (学名)	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Ilex micrococca</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Castanea crenata</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>				
相対的樹高			+		+					-					-
樹高 (m)	15.8	16.3	18.5	18.4	17.6	17.3	18.3	18.4	18.3	12.9	18.8	19.9	15.6	12.7	14.8
胸高直径 (cm)	25.4	29.8	29.7	31.4	29.2	26.8	31.6	37.4	33.7	25.7	22.6	22.4	29.4	35.6	27.4
樹勢															3
樹形					1	1			1						3
枝の生長量					1	1			1						3
梢端の枯損					1	1			1						3
落葉率															2
葉の変形度															
葉の大きさ															
葉色															2
葉の障害状況															2
ダメージクラス															3

樹木衰退の原因推定 4, 16: プナ科樹木萎凋病(カシノナガキクイムシ・ナラ菌の加害は復旧)  
7, 8: カシノナガキクイムシの穿孔孔あり(衰退等は見られず)

備考 11及び16: 過去に樹種誤記載  
18: 平成24年度に誤記載のため削除